

総務民生常任委員会報告

委員長 木戸 俊治

開催日 平成27年1月22日

請願第2号 重度障がい者の医療費助成及び公共交通機関の運賃割引等の精神障がい者への適用に関する件

請願趣旨 平成5年の障害者基本法により、これまで主に医療の対象であった精神障がい者が障がい者福祉の対象として位置づけられ、身体障がい者や知的障がい者と同水準の福祉施策を整備する根拠が与えられた。しかしその後も障がい者福祉において、精神障がい者の格差が解消されていないとして次のとおり請願がありました。

1. 精神障がい者についても、重度障がい者の医療費助成が適用されること。
2. 精神障がい者についても、公共交通機関の運賃割引や高速道路の通行料金割引が実施されるよう、JR、大手民鉄、航空会社等に要望すること。
3. 前期、早期実現のために、関係機関と連携を図り、国や府に対し強力な働きかけを行うこと。

当委員会に付託された以上の請願に対し、健康福祉部局に本町の取り組み状況について説明を求め、本委員会においても請願の趣旨を理解し、全員の賛成により採択すべきものと決定し、請願審査報告書を提出しました。

なお、本請願については平成27年2月13日開催の平成27年能勢町議会2月会議において採択されました。

学校教育特別委員会報告

委員長 美谷 芳昭

開催日 平成27年1月26日

議題 学校再編の進ちょく状況

昨年11月に続き、第6回目の委員会を開催しました。

今回は、造成工事も終盤を迎え、また、平行して校舎等の建築工事も着工しましたので今後の工程も含め、開校に関する課題などについて以下のような審議をしました。



説明・報告

- ・用地造成工事は、降雨等気象条件により工期が3ヶ月延長（平成27年3月27日まで）
- ・校舎等建築工事の進ちょく率が7%となり、26年度は主に地盤改良や基礎工事施工
- ・通学対策は、通学対策分科会や通学路安全推進会議での検討状況
- ・能勢ささゆり学園開校準備中間報告会での審議状況

主な質疑

- ・通学対策について未定な部分が多い、通学方法やスケジュール等具体的な内容を早期に示すべきではないか
- ・通学バスの台数が増えているがなぜ変更したのか、また、通学バスが一部路線バスに変更されているが、いつからか、阪急バスと調整しているのか
- ・開校準備中間報告で具体的にどのような意見が出ていたのか、また、何をどう進めるのかを明確に示すべきではないか

その他多くの質問や意見・要望があり、それに対する答弁がありました。